

# 次第4. 事前質問への回答



R7.3.15 教育委員会学校適正推進課

## 次第4 事前質問について

### 【事前質問の概要】

- ・ 事前質問受付数 **50件**
- ・ 過去説明会に参加の有無      **あり 46件      なし 4件**
- ・ 説明会で特に聞きたい内容
  - 学校統合の必要性・統合方法に関すること      **24%**
  - 開校準備（通学方法等）に関すること      **18%**
  - 活用施設の決定理由に関すること      **32%**
  - その他      **26%**
- ・ 質問内容（複数回答）
  - 学校学習環境規模適正化推進計画について      **27件**
  - 通学について      **19件**
  - 生徒規模について      **10件**
  - 適正な学校規模について      **10件**
  - 開校準備委員会について      **7件**      他

## 【質問内容の要約】

- ・ 3 拠点化を経て 2 拠点化にする理由
- ・ 今後の統合をどのように行うのか
- ・ 統合する年を遅らせてほしい
- ・ 西脇市の目指す教育とそのために必要な教育環境は
- ・ 新校舎を建設してほしい
- ・ 2 拠点化まで現状維持のままでもいい など



**学校学習環境規模適正化推進計画に記載されている内容に関する質問になります。**

前回までも回答させていただきましたが、再度説明させていただきます。

## 現状

- ・市内全域で子どもの人口が激減、さらに減少が見込まれる
- ・子どもの人口を中学校区で見ると、大きな偏りが生じている

■一部の中学校は、単学級化や生徒数の減少がすでに進行

目指す教育環境と  
現状に乖離が発生

■一定規模の児童生徒数が必要

## 西協市の 目指す教育

第4期西協市教育振興基本計画（教育創造にしわきプラン）

令和6年度重点施策

- ・園小の円滑な接続
- ・小中連携から小中一貫への移行
- ・GIGAスクール構想の推進
- ・非認知能力の育成
- ・人権教育の推進
- ・いじめ・不登校への対応
- ・コミュニティ・スクール設置の研究
- ・部活動地域展開の検討

## 生徒数を与える学校生活への影響

	生徒数が少ない場合	生徒数が多い場合
学習活動	<ul style="list-style-type: none"><li>一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな指導が可能</li><li>個々の能力や適性を伸ばしやすい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>多様なものの見方や考え方、多くの表現に触れる機会が増える</li><li>社会性やコミュニケーション能力が身に付く機会が増える</li><li>学級の枠を超えた習熟度別指導など多様な指導形態をとることができる</li></ul>
集団生活	<ul style="list-style-type: none"><li>学校行事では、一人ひとりの個別の活動機会が多い</li><li>多くの生徒が学校行事のリーダー等になれる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>運動会や音楽会などの集団的な学校行事が制約なしに開催できる</li><li>学級同士が切磋琢磨できる</li><li>多様な部活が選べる</li></ul>
人間関係	<ul style="list-style-type: none"><li>相互の人間関係が深まりやすい</li><li>生徒同士の人間関係を掌握しやすい</li><li>異学年間の交流が生まれやすい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>生徒同士の人間関係に配慮した学級編制ができる</li><li>新たな人間関係を構築する力を身に付けやすい</li><li>高校の多人数にギャップを感じにくい</li></ul>

生徒数が多く  
なること



教育水準の維持・向上が可能であり、西脇市の目指すより良い教育環境の実現に近づく 4

# 中学校統合の必要性

適正化検討会議  
学校学習環境規模

子どもにより良い教育環境を実現するために

3拠点化、2拠点化（早い時期、遅い時期）統合しないなど  
**あらゆる可能性**を検討

約2年間で12回

地区説明会(17回)や地域会議(17回)を実施し、**市民からの意見を募った**

並行して実施

答申

中学校の適正規模  
学校配置

⇒  
⇒

1学年2学級以上の確保を目指す  
中学校の3拠点化  
調査検討会議の後、2拠点化

西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画

統合対象：単学級、また単学級となる可能性のある学校  
（西脇東中学校、黒田庄中学校の両校とも対象）

両校を統合し、西脇東中学校の校舎を活用することを決定

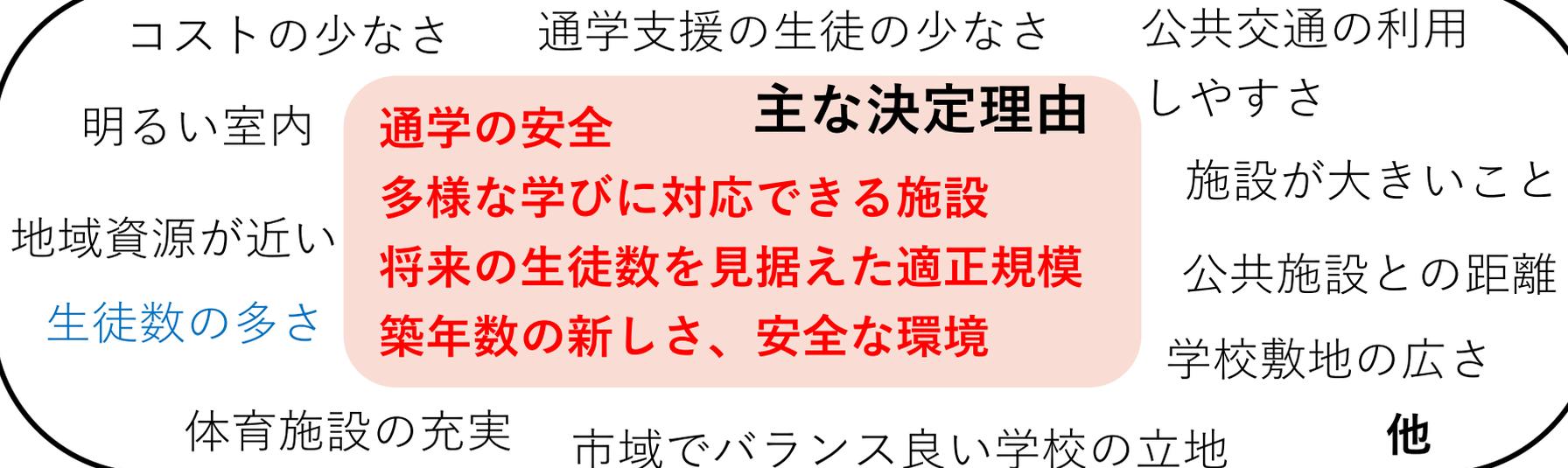
市内全域で教育の機会均等と教育水準の維持・向上

### 【質問内容要約】

- ・生徒規模が大きい学校が小さい学校へ行く理由が不明

### 回答

教育委員会で教育委員がそれぞれの視点で子どもにとってより良い教育環境を実現するために、生徒規模も含め、総合的に判断した結果となります。



### 【質問内容要約】

- ・ 適正な学校規模という理由なのになぜ校舎を増築するの？

### 回答

西脇東中学校は1学年2学級の合計6クラス想定で建築されており、統合後の学校規模として想定される**6クラス約240人が生活する学校として適正な規模**と考えられます。

また、将来の人口減少を考えても、今以上に生徒数が増えないことを考えると、西脇東中学校の規模が**将来にわたっても適正**と考えています。

増築校舎は、新たな教育の形として**できた少人数教育のためのスペースを確保**するものであり、現状の施設規模を著しく増加させる計画ではありません。

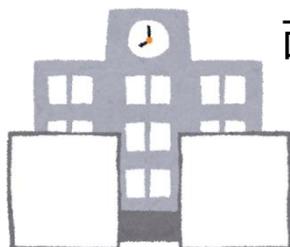
# 質問内容要約 3

## 学校規模の比較表

	西脇東中学校	黒田庄中学校
普通教室数	6室	12室
最大想定人数	240人	480人
校舎面積	3,110㎡	4,242㎡
体育施設面積	1,136㎡	2,377㎡ (体育館+柔剣道場)
グラウンド※	約13,000㎡	約15,700㎡
学校敷地面積※	約27,500㎡	約28,500㎡

※は地籍調査が未完了のため、図上計測（グーグルマップ）による参考値を表示

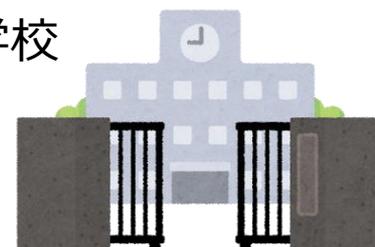
統合後の生徒数は令和9年度の205人が最大で以降減少傾向



西脇東中学校

- 人口減少を考慮しても将来にわたり適正規模

黒田庄中学校



- 過大規模になり、過剰部分まで維持管理（例：修繕等の費用）

### 【質問内容】

・開校準備委員会に黒田庄地区の関係者が不参加の場合比延地区や教育委員会の意見だけで一方的にいろいろなことが決まっていますか？

### 回答

開校準備委員会は、子どもたちのために、より良い教育環境を創出し、地域の実態に即した学校となるように設置するものです。

地域の実態に即した学校を実現するためには、委員全員の参加をお願いしたいと考えています。

委員の皆さんには、**子どもたちのより良い教育環境の実現のために**、ご理解をいただき、開校準備委員会を開催し、必要な協議を進めたいと考えています。

## 統合に関して、ご納得をいただけないご意見【主なもの】

### ① 地域に学校を残すべき (統合しない)

将来にわたって地域に学校を残すことが目的

### ② 統合新中学校は黒田庄中を活用すべき

学校統合の必要性は理解されている…決定を変えるべき

地域や保護者の方  
からの様々なご意見

### ③ 2校化統合 (西中+統合中 (東中、黒中)) を前倒しすべき

学校統合の必要性は理解されている…さらに関係者が増える状況での調整

#### ①～③のご意見

一定の方向性を見出すための  
協議・調整には時間を要す



子どもたちのより良い**教育環境の実現は遠のく**

子どもたちの教育環境を考えると、**統合新中学校の開校準備を進めていくことが、現実的であり、ご理解をいただきたい。**

### 【質問内容要約】

- ・ 通学手段に関わらず、通学路の安全確保はできるのか
- ・ 自転車通学の想定ルートと安全面について

### 回答

子どもたちの安全に関する心配を極力減らす、もしくは対策をとることが大原則です。様々な手段を使いながら安全の確保に努めます。

自転車通学の課題となる可能性がある場所は、通学路の設定がこれまでなかった道路であると想定しています。

両地区を結ぶ県道は十分な幅員等があり、現時点では往来が困難であるような状況ではないのではないかと考えます。

そこを通学路に指定した場合、どのような課題があるか等を開校準備委員会等で協議します。

# 質問内容要約 5 (例：道路を安全性に応じて①～④に分類)

## 自転車の通行スペース

狭い

広い

④

通行スペース：狭い  
車の交通量：多い

②

通行スペース：広い  
車の交通量：多い



③

通行スペース：狭い  
車の交通量：少ない

①

通行スペース：広い  
車の交通量：少ない



多い

少ない

車の交通量

## 質問内容要約 5 (例：道路を安全性に応じて①～④に分類)

- ①通行スペース：広い、車の交通量：少ない  
通学路として問題ない

(例)



- ②通行スペース：広い、車の交通量：多い  
通学路として問題ない

(例)



## 質問内容要約 5 (例：道路を安全性に応じて①～④に分類)

- ③通行スペース：狭い、車の交通量：少ない  
通学路として使用するには留意が必要

(例)



- ④通行スペース：狭い、車の交通量：多い  
通学路として極力使わない

(例)





# 質問内容要約 5 (自転車通学の想定ルート)



### 【質問内容】

・ 在校生で統合時に名札や校章バッチなど新しく購入する際、保護者負担を減らしてほしい。

### 回答

保護者負担に関しては、できる限り負担が軽減できるよう配慮します。



ありがとうございました



NIHONNO  
HESONOÓ